

東北女性の手仕事物産展

第1回



マスク(福島県)



刺し子台ふき(福島県)

買い物
して



ペーグルリン(岩手県)



アクセサリー(福島県)



漬けもの(福島県)



野菜ジャム(宮城県)

たくさん、たくさん
持ってきました。



フクさん

ミヤちゃん

いわさん

わたしたち、
こころを込めて
つくったものを



野草茶(岩手県)



刺し子ふきん(福島県)

映画も
みて



巾着袋(宮城県)

応援
して

※写真は出展商品の一部であり、実際と異なる場合があります。

いわて、みやぎ、ふくしまから

Peace Jam、一般社団法人気仙沼復興協会「港町の縫いっ娘ぶらぐ」、WATALIS、かーちゃんのカプロジェクト、NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島、浪江花の会、peach heart、南三陸はまゆり会 他多数 (順不同)

2012 9/15(土)・16(日) 10:00-17:00

ドーンセンター 1Fロビー (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

当日は、作り手の方々も来られます(一部)。お話を聞いてその思いを知り、素敵なものたちとの出会いを楽しんでください。

- 協力 岩手県、盛岡市、もりおか女性センター、NPO法人参画プランニングいわて、宮城県、気仙沼市、福島県男女共生センター、女性の自立を応援する会(福島・郡山)、大阪府、東大阪市、三菱電機ビルテクノサービス株式会社
- 後援 朝日新聞社、NHK大阪放送局、産経新聞社、日本経済新聞社大阪本社、毎日新聞社、読売新聞大阪本社
- 共催 ドーン運営共同体
- 主催 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

東北女性の手仕事物産展

被災地では、女性たちが
農水産物、地元の産物を使った加工品、
手づくり雑貨、アクセサリなど様々なものを
生産し、販売しています。

私たちの知らないものがまだまだたくさんあるんです。
私たちにできること。

東北の女性たちがつくった美味しいものを食べ、
かわいいものを買って、
素敵なものを使う。



現在、当財団が内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」を受託したことで、スタッフが東北3県を訪問する機会が増え、地元女性団体や自治体等との交流・ネットワークができました。これを活かし、「東北」と「大阪」をつなぎます。

「大阪で応援できること=買い物すること」
東北の女性がつくった農産物、加工品、手仕事品を販売し、持続可能な販売ルートを作っていきます。

「ドーンセンター」の「ドーン(DAWN)」は、開館時に公募で決まった名称で、「夜明け」「物事の始まり」を意味する英語。「どーんとこう」「どーんとやってみよう」という大阪の女性の意気込みも込められています。「どーん」に込められた思いを継承し、本事業を実施します。

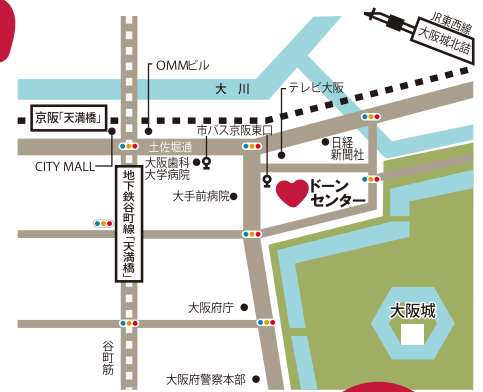
大阪から“どーん”と元気を届けましょう!

お問い合わせ

(一財)大阪府男女共同参画推進財団

TEL 06-6910-8615 FAX 06-6910-8624 URL <http://www.ogef.jp>

〒540-0008大阪市中央区大手前1-3-49 ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)



- 京阪・地下鉄谷町線「天満橋」1番出口より東へ約350m
JR東西線「大阪城北詰」2番出口より西へ約550m
- 阪神高速東大阪線「法円坂」出口すぐの交差点左折。上町筋を北へ約5分
ドーンセンター立体駐車場:1時間400円(30分ごとに200円)、普通車92台



第46回ドーン・シネマクラブ

<日本/2011年/90分/監督:我謝京子>

第24回東京国際女性映画祭上映作品

インディアナポリス国際映画祭上映作品/アジア映画祭上映作品

「3月11日より前に戻りたいでしょう?
でも戻れないから
もう前を向いて生きるしかないの」

毎日を懸命に生きていく女性たち。震災から4ヶ月が過ぎた2011年7月、気仙沼から始まり、南三陸、石巻、福島、郡山、相馬、遠野、釜石、陸前高田、仙台そして東京で出会った女性たちは、「こうして私は生きている」とその姿をカメラの前にさらけ出してくれた。

日本の復興のために今、自分に何ができるのかと問いながら生きている彼女たちの姿は、被災者、非被災者というと枠組みを超えて、人としての生き方を私たちに問いかける。

2012年 9月16日(日) 開場13:00 上映13:30~15:00 監督トーク15:15~
ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター) 視聴覚スタジオ(5F)

▶チケット料金 前売り1,000円(当日1,300円) ※当財団個人賛助会員は前売り価格

▶チケット販売 ドーンセンター(3F)、財団HP、電話予約(上映前日まで)



〈監督プロフィール〉 我謝京子(がしやきょうこ)

1963年東京生まれ。テレビ東京報道記者として活躍。経済番組や自然出産、少子長命社会のドキュメンタリーの製作、ヘルメ大使公邸人質事件や阪神淡路大震災の復興取材なども体験する。2001年に母子単身赴任で渡米し、ロイター社のテレビレポーター&プロデューサーとして活躍。2005年から映画監督として、ドキュメンタリー映画「母の道、娘の選択」を制作。ニューヨークで生きる道を選んだ日本女性の生き方を克明におさめ、第22回東京国際女性映画祭の上映作品に選ばれ、2010年ニューヨーク国際インディペンデント映画祭観客賞、最優秀文化ドキュメンタリー賞をダブル受賞。2011年より世界各国での配給が決定。

同時開催



第33回『はなみずき基金』事業

「すべての女性が自分の人生を主体的に選択し、納得の人生を実現できる社会をつくるための志援金としてご利用いただきたい」との趣旨で府内在住の女性から当財団に贈与された寄附金を基に設置した基金事業です。